

主 文

本件控訴を棄却する。
控訴費用は控訴人の負担とする。
事実及び理由

第 1 控訴の趣旨

- 1 原判決を取り消す。
- 2 被控訴人が、控訴人に対し、平成 11 年 7 月 1 日付けでした不動産取得税賦課決定処分（平成 11 年度 7 月随時処分。税額 145 万 3200 円、納期限同月 15 日）を取り消す。

第 2 事案の概要

本件事案の概要は、原判決の「事実及び理由」中「第 2 事案の内容」に記載のとおりであるから（ただし、原判決 4 頁 17 行目の「地方税法」を「平成 11 年 3 月法律第 15 号による改正前の地方税法」に改める。）、これを引用する。

第 3 当裁判所の判断

- 1 当裁判所も、控訴人の本件請求は理由がないものと判断する。
その理由は、次のとおり補正するほかは、原判決の「事実及び理由」中「第 3 当裁判所の判断」に記載のとおりであるから、これを引用する。
 - （1） 原判決 12 頁末行の「第 1 項各号」を「柱書」に改める。
 - （2） 原判決 17 頁 10 行目の「約 568 平方メートル」の次に「（なお、本件返還土地のうちの神奈川県横須賀市 α 1583 番 50 宅地 170・82 平方メートルについては、共有持分 2 分の 1 の返還であるので、その地積の 2 分の 1 に相当する 85・41 平方メートルの返還があったものとして計算する。）」を加える。
 - （3） 原判決 19 頁 12 行目冒頭から 23 行目末尾までを削る。
 - （4） 原判決 21 頁 19 行目の「1 項」を削る。
- 2 以上によれば、控訴人の本件請求は理由がないから棄却すべきであり、これと同旨の原判決は相当である。

よって、本件控訴は理由がないから棄却することとして、主文のとおり判決する。

東京高等裁判所第 22 民事部
裁判長裁判官 石川善則
裁判官 井上繁規
裁判官 酒井正史